

第73回

全日本産業別柔道大会



期日	2025年11月23日(日・祝)	場所	講道館
主催	全日本実業柔道連盟	主管	東日本実業柔道連盟
後援	(公財)講道館・(公財)全日本柔道連盟		

ここに、Always OK



ALSOK

24時間365日駆けつけ。お家に非常ボタンがある安心を。



HOME ALSOK Connect コネクト

24時間
365日受付



0120-39-2413

サンキュー

ツヨイ

ミカタ



◀ 詳細はこちらへ



ごあいさつ

全日本実業柔道連盟
会長 小堀秀毅

本日、ここ講道館において「第73回全日本産業別柔道大会」が開催されますことを誠に喜ばしく思います。

本大会は、昭和28年以来、企業の枠を超えて業種別にチームを編成し、覇権を競う一方で、相互の交流や親睦を深める場として開催されてきた大変意義深い大会であります。令和4年より、階級別の団体戦として新たな試合方式で行われていますが、今回8部門からのご参加をいただきました。これも会員企業の皆様方の実業柔道に対するご理解とご支援の賜物であると厚く御礼申し上げます。

さて、今年6月に、ハンガリーのブダペストで開催されました世界選手権大会では、日本選手団は個人戦で金6個を含む14個のメダルを獲得し、加えて男女混合団体戦でも銅メダルを獲得するなど、日本柔道のレベルの高さを改めて世界にアピールする事が出来ました。選手の皆さんには、2026年のアゼルバイジャン世界選手権大会などそれぞれの目標に向け、実力を存分に発揮して戦って頂くことを期待します。

また、当連盟の選手の皆さんには、柔道選手であるとともに、嘉納治五郎師範が終生取り組まれた「柔道を通じた人づくり」を具現化する、礼節を重んじる良き社会人であるべきであり、柔道はその修養の場でもあります。本大会においても、正々堂々と試合に臨み、日頃の鍛錬の成果を遺憾なく発揮してください。そして、各方面のご支援に改めて感謝し、更に社会全体の発展に貢献するために、これからも精進を重ねていただくことを願っております。

最後に、本大会の開催運営に多大なご尽力を賜りました大会役員をはじめ関係者の皆様方に厚く御礼を申し上げまして、私のご挨拶とさせていただきます。

第73回全日本産業別柔道大会実施要項

1. 日 時 2025年11月23日(日・祝)午前8時20分(開場) 9時45分時開会式終了後試合開始
2. 場 所 講道館 〒112-0003東京都文京区春日1-16-30 電話03-3818-4893
3. 主 催 全日本実業柔道連盟
4. 主 管 東日本実業柔道連盟
5. 後 援 (公財)講道館、(公財)全日本柔道連盟
6. 参加資格 (1)全日本柔道連盟に登録した者であること。
(2)全日本実業柔道連盟に加盟し年会費を納めた会員企業に在籍し、全日本実業柔道連盟に選手登録している者。※年会費未納の場合は参加できない。
7. 試合要項 (1)出場部門は産業別に編成する。
(2)部門編成は役員(監督、助監督、コーチ、主務、トレーナー)8名、登録選手は3階級で18名以内とし、73kg以下、90kg以下、無差別級で各階級6名以内 計18名以内とする。
但し、2社以上の会社単位より登録し選手編成は1事業所当たり10名を超えることはできない。また参加部門の監督は全日本柔道連盟指導者資格Cライセンス以上の既得者とする。
- (3)試合方法
- 試合は出場部門をAブロック・Bブロックに分けてリーグ戦を行い、各ブロックの1位による決勝戦と2位による3位決定戦を行う。
- イ. 試合時の選手編成は12人制とし、選手配列は、先鋒から軽い階級順73kg以下4名、90kg以下4名、無差別級4名とする。
その各カテゴリー内での選手選出は試合ごとに自由とする。
また、本大会において上記に登録した階級より重い階級で試合に出場することが出来る。
(73kg登録)・・・90kg・無差別級に出場可、(90kg登録)・・・無差別級に出場可。
但し、一度登録外の階級出場した場合、再び登録階級に戻ることはできない。
- 第1試合のオーダーは試合当日9時00分までに大会本部に提出する。
- 第2試合以降は、自部門の試合が終了後、または次対戦部門試合終了後、5分以内に提出すること。未提出により5分経過した後は、自動的に前回戦のオーダーのとおりとなる。
- ロ. チーム間の勝敗は次により決定する。
- ①勝者数の多いチームを勝ちとする。
②①で同数の場合は一本勝、不戦勝ち、棄権勝ち、相手の反則負け>技有>有効>僅差の勝の内容により上位を決める。
③勝数・内容が同一の場合は、任意選出1名による代表戦を行う。代表戦で「引き分け」の場合は、ゴールデンスコア(延長戦)により勝敗を決する。ゴールデンスコアで両者反則負けで勝敗が決しない場合は、再び任意選出にて代表戦を行う。代表戦で「引き分け」の場合は、ゴールデンスコア(延長戦)により勝敗を決する。なお、リーグ戦終了後の順位決定において内容(1. チームの勝ち数、2. チームの勝ちの内容、3. チームの負け数、4. 直接対決での勝者)により順位を決定する。
- (4)柔道衣について
- 2022年1月から国際柔道連盟が改正した柔道衣コントロールで実施する。
全柔連柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。
柔連柔道衣規格合格品のリストは全日本柔道連盟のホームページを参照のこと。
柔道衣の大きさ又は規格が規定に合わない場合は出場を認めない。(主催者は予備の柔道衣を準備しない)
- (5)ゼッケンについて
- 布地は白色とし、苗字を上部2/3、チーム名を下部1/3に男子は黒文字で記載する。サイズについては縦25cm~30cm、横30cm~35cmとすること。縫い付け位置は後襟から5cm~10cm下部に縫い付けること。
8. 計 量 大会当日午前8時30分から午前9時00分までの間、「73kg以下」及び「90kg以下」の計量を実施する(+2kgまで認める)なお、無差別級の計量は行わない。
※計量は、部門ごとに計量者全員がまとまって行う。
※計量場所:講道館新館2階教室

9. 審 判 規 定 (1) 最新の国際柔道連盟試合審判規定で行う。(2025～2028)
(2) 試合時間 4 分間。
(3) 優勢勝ちの判定基準は「有効」又は「僅差」以上とする。
※「指導」差が2対0になった場合「指導」0の選手を「僅差」勝ち、「指導」差が1は引分け。
(4)「技の内容」と「指導」の重み。※【一本勝=反則勝>技あり>有効>僅差】の順とする。
(5) 代表戦については、個人戦同様で「僅差」決着なし。
10. 申込方法 (1) 申込期日 10月17日(金)厳守とする。
(2) 申込書 別紙申込書を使用し、生年月日と全柔連登録番号は明確に記入すること。
(3) 申込先 〒107-8511東京都港区元赤坂1-6-6 総合警備保障(株)内 東日本実業柔道連盟
TEL: 03-3402-7528 FAX: 03-3402-7538 E-mail: higashijudo-j@alsok.co.jp
(4) 選手変更 11月14日(金)～18日(火)17時00分まで東実柔連事務局宛メールにて受け付ける。
大会申し込み後にメールにて案内をする。※大会前日の選手変更は無し。
※但し選手変更については、参加申込時メンバーより各階級登録外選手2名以内とする。
11. 抽 選 会 10月24日(金)午後4時より、ALSOK本社内会議室にて大会役員立会いの上、組合せ抽選会を厳正に行う。
12. 表 彰 優勝(賞状・優勝旗・優勝杯・賞品)、準優勝(賞状・賞品)、3位(賞状・賞品)を表彰する。優秀選手賞は7名(優勝部門3名・準優勝部門2名・3位部門2名)を表彰する。
13. 参 加 料 参加料は1部門当たり150,000円とする。
振込先 全日本産業別柔道大会事務局 三井住友銀行本店 営業部普通9028311
14. 代表者会議 集合形式の会議は開催せず、事前に参加部門へ案内をする。
15. 審 判 員 (1) 全日本実業柔道連盟により委嘱する。
(2) 試合当日9時15分より講道館7階大道場・第3試合場にて、審判会議を開催する。
16. 開閉会式 (1) 9時45分より開会式を行うので、出場選手は柔道着を着用の上参加すること。
(2) 表彰式・閉会式について、入賞チームは柔道着を着用の上参加すること。
17. 傷 害 保 険 本大会において当連盟は傷害保険(死亡、後遺障害、入院に適用)に加入する。但し、試合中の傷害に対する補償のみとする。その他の保険は各社又は各人は自己責任にて必ず傷害保険に加入すること。
18. 出 場 部 門 出場部門は以下の8部門を予定する。
繊維部門、医療・警備部門、官公庁部門、建設・電機・機械部門、鉄鋼部門、運輸部門、JR部門、食品・印刷・サービス部門。
19. 特 記 事 項 (1) 皮膚真菌症(トンスランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。
感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手は、迅速に医療機関において的確な治療を行なうこと。
大会時に、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
(2) 脳振盪対応について、選手及び指導者は以下の事項を遵守すること。
・ 大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
・ 大会中、脳振盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは認めない。(受傷した時点で必ず専門医を受診すること)
・ 練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
・ 上記のいずれかに該当する選手がいる場合、指導者は必ず大会事務局へ事故報告書を提出すること。
(3) 大会で撮影された写真および映像の肖像権は、主催者側に帰属する。
(4) プログラムに掲載する大会申込情報は、ホームページに掲載する。

以上

第73回 全日本産業別柔道大会役員

(順不同)

名 誉 会 長 宗 岡 正 二

名 誉 顧 問 浅 野 敏 雄 村 井 温 森 詳 介

会 長 小 堀 秀 穀

副 会 長 村 井 豪 松 本 秀 作

常 任 顧 問	内 海 章 雄	内 海 健 雄	江 口 孝
	唐 池 恒 二	佐 藤 貴 史	戸 高 善 之
	橋 田 紘 一	三 好 忠 滿	森 口 嘉 久
	山 口 英 彰	米 澤 隆 弘	

顧 問	大 山 昭 三	瀬 戸 口 正 征	山 本 裕 洋
	渡 辺 軍 三		

参 与	浅 賀 健 一	大 橋 武 彦	柏 倉 伸 司
	小 林 章	小 林 次 雄	高 橋 茂
	竹 元 紀 夫	中 村 真 一	橋 本 上
	丸 谷 武 久	水 谷 久 夫	水 野 寛 之
	藪 宏 明		

大 会 顧 問 大 塚 陸 穀

大 会 参 与	福 田 寛	島 本 貴 洋	伊 吹 隆 直
	西 坂 徹		

大会委員長

佐藤 輝

大会副委員長

諏訪 剛

大会委員

中央行政有二元之剛幸介雄和之廣純郎大直譽実昭太武努太三之作士二
廣廣秀義利朝幸宏康三和昌典義正雄兼勝大幸健
丸児岡齋中松山秋伊志河喜高樋中橋古松山乾河甲重高中久御藪橫
央至茂行子司彦二幸絵明一輝博平修二幸久太輝厚等夫吾広平太勉
佳孝博淳慎利裕敏菜道裕宗昌亮栄保竜勇友將真真翔雄
中栗岡木中日山渡阿宇賀川柴壺永中藤前柳石小小佐志中樋三矢山

田中 裕二

田島本藤村岡本元嶺川合多宮川和場田阪本原能原松村富手田井
丸児岡齋中松山秋伊志河喜高樋中橋古松山乾河甲重高中久御藪橫
央至茂行子司彦二幸絵明一輝博平修二幸久太輝厚等夫吾広平太勉
廣廣秀義利朝幸宏康三和昌典義正雄兼勝大幸健
丸児岡齋中松山秋伊志河喜高樋中橋古松山乾河甲重高中久御藪橫

郎之美翠知二悟任博人平朗子生一子二司太史則一治仁幸三勝博人
知紀仁裕理國明周一哲航伸友洋健勇將政恒哲寬憲修義和正
好田山谷川岸脇沼都丸北島谷井村見宮村蘭熊塚藤神中川本月本岡
三池貝薪山西山山淺宇金川小樽永中福古松吉大君齊白田早松望山吉

Mobility Link

タイムズは、駐車場を含めたすべてのサービス拠点を、
快適なモビリティライフを送るために必要不可欠な場所に変え、
人々にとって魅力的な、モビリティ・リンクを形成していきます。



We make life better

当たり前になる快適さを、次々と。

(国内) パーク24株式会社 タイムズ24株式会社 タイムズモビリティ株式会社 タイムズサービス株式会社 タイムズコミュニケーション株式会社
パーク24ビジネスサポート株式会社 タイムズサポート株式会社 タイムズインベーションキャピタル合同会社

(海外) 台湾普客二四股份有限公司 TIMES24 SINGAPORE PTE. LTD. TIMES24 MALAYSIA SDN. BHD.
SECURE PARKING PTY LTD. NATIONAL CAR PARKS LIMITED

パーク24グループは、ニッポン柔道を応援しています。

競 技 役 員

(順不同)

審 判 長

諫 訪 剛

審 判 委 員

金 丸 明 人

向 井 幹 博

人 二 仁 文

雅 裕 寛

部 邊 中 藤

審 判 員

岩 村 衡 郎
中 嶋 和 三
河 原 正 太
秋 元 紀 力
本 田 綾 香

稻 尾 郁 真
川 山 洋 品
上 品 野 義
甲 地 吉

阿 渡 田 工

優秀選手選考委員

諫 訪 剛

田 中 裕 二

總 務 係

中 村 佳 央
荒 木 清 二
斎 藤 刚 翠
山 本 翠 二
薪 谷 真 雅
川 濱 裕

丸 田 廣 行
小 林 一 司
川 下 裕 仁
中 山 弓 晶
大 矢 鈴 雅
木 木 晶

牧 瀬 敏 文
中 嶋 和 二
山 岸 裕 弘
壺 阪 昌 子
木 下 路

試合場責任者

手 柴 宗 一 郎

石 塚 康 太 郎

平 方 大 喜

救 護 係

長 岡 英

山 根 孝 之

吉 田 和 永

補 助 係 員

高輪学園
中 川 剛 大
市 川 煌 士

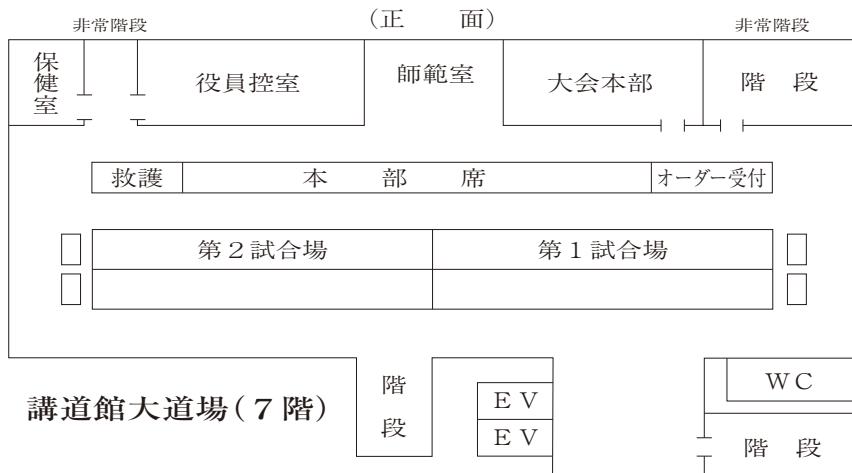
鶴 澤 橙 也
森 田 唯 仁

時 田 景 一 郎
渡 邊 裕 功

桐朋学園
岡 澤 凤 修
渡 遷 景 太

岡 田 烜 史
宮 地 天 晴

大 西 川 航 春
東 川 航 己



SENKO

物流から、明日を創る。



Aブロックリーグ戦 組み合わせ

第1位：

第2位：

No.		1	2	3	4	勝 負	順 位
		チーム名	食品・印刷・サービス	鉄 鋼	官 公 庁	運 輪	勝-負-分
1	食品・印刷・サービス		①- 1	①- 3	①- 6		
2	鉄 鋼	①- 1		①- 5	①- 4		
3	官 公 庁	①- 3	①- 5		①- 2		
4	運 輪	①- 6	①- 4	①- 2			

※①は、試合場－試合順

試合順序	第1試合場		
1	食品・印刷・サービス部門	VS	鉄 鋼 部 門
2	官 公 庁 部 門	VS	運 輪 部 門
3	食品・印刷・サービス部門	VS	官 公 庁 部 門
4	鉄 鋼 部 門	VS	運 輪 部 門
5	鉄 鋼 部 門	VS	官 公 庁 部 門
6	食品・印刷・サービス部門	VS	運 輪 部 門
7	決 勝 戦		

《Aブロック》

食品・印刷・サービス					鉄 鋼				
選手別	階級	段位	氏 名	所 属	選手別	階級	段位	氏 名	所 属
監督			吉 薗 勇 太	ダ イ コ 口	監督			齋 藤 俊	日本製鉄・広畠
助監督			藤 猪 省 太	日本エースサポート	助監督			出 口 嘉 之	戸高鉱業社
〃			海 老 沼 聖	パ ー ク 2 4	〃			細 田 真 史	〃
					〃			川 北 周 平	JFEスチール
					〃			竹 本 五 成	日本製鉄・大分
					〃			大 瀧 誠 士	日本製鉄・名古屋
					〃			岩 本 英 樹	日本製鉄・本社
					〃			守 屋 幸 裕	日本製鉄・室蘭
					コーチ・主務			西 山 大 希	日本製鉄・広畠
								谷 井 大 輝	〃
選 手	73	5	佐 藤 雄 哉	日本エースサポート	選 手	73	初	上 原 翔 希	日本製鉄・大分
	73	2	旭 征 哉	〃		73	2	佐 藤 周 也	戸高鉱業社
	73	4	近 藤 隼 斗	パ ー ク 2 4		73	3	弓 矢 健 獨	日本製鉄・本社
	73	4	前 山 昌 平	ダ イ コ 口		73	2	諏 訪 部 仁	〃
	73	無	コーリヌグラハ	〃		73	2	門 馬 友 規	〃
	73	2	小 田 優 斗	〃		73	3	別 所 晃 己	JFEスチール
	90	3	田 中 航 太	日本エースサポート		90	3	布 施 智 章	日本製鉄・本社
	90	4	森 健 心	パ ー ク 2 4		90	3	高 橋 輝	日本製鉄・室蘭
	90	3	北 條 嘉 人	〃		90	2	原 祐 介	〃
	90	3	塙 本 綾	〃		90	3	戸 田 将 太	日本製鉄・広畠
	90	3	田 中 裕 大	〃		90	3	石 田 幸 伸	〃
	90	初	案 浦 小 虎	ダ イ コ 口		90	初	松 岡 拓 崎	JFEスチール
無差別	4	関 根 聖 隆	日本エースサポート		無差別	2	佐 藤 翔 太	日本製鉄・大分	
無差別	3	大 村 康 太	〃		無差別	2	長 澤 樹	戸高鉱業社	
無差別	3	園 田 陸 斗	〃		無差別	2	濱 本 優 希	日本製鉄・名古屋	
無差別	3	松 村 颯 祐	パ ー ク 2 4		無差別	3	石 村 健 真	日本製鉄・広畠	
無差別	3	藤 鷹 裕 大	〃		無差別	3	山 元 隆 一	〃	
無差別	4	グリーンカラニ海斗	〃		無差別	3	森 田 和 志	〃	

官 公 厅					運 輸				
選手別	階級	段位	氏 名	所 属	選手別	階級	段位	氏 名	所 属
監督			赤迫佑介	東京拘置所	監督			中村裕次郎	羽田タートルサービス
助監督			尾張太一	水戸刑務所	助監督			山脇悟	日本通運
コーチ			河村誓	府中刑務所	コーチ			古田昌直	センコー
主務			伊能雄助	千葉刑務所	主務			渋谷蓮	羽田タートルサービス
トレーナー			大金良二	東京拘置所					
選 手	73	3	須山健介	府中刑務所	選 手	73	3	佐々木光太朗	日本通運
	73	3	多田風太	東京拘置所		73	3	竹下徹	〃
	73	2	麥間亮汰	水戸刑務所		73	3	立石倫太	センコー
	73	3	眞下一馬	横浜刑務所		73	3	福島大樹	〃
	73	3	子安麟太郎	千葉刑務所		73	3	日野敬史	羽田タートルサービス
	73	3	伴直哉	川越少年刑務所		73	2	池福祐基	三菱ケミカル物流
	90	3	三笠蒼樹	府中刑務所		90	3	中村洸登	日本通運
	90	3	板井琉成	東京拘置所		90	3	影浦力	〃
	90	3	瀬部晟也	横浜刑務所		90	3	宮崎楓梧	センコー
	90	3	小倉浩文	千葉刑務所		90	3	金田公汰	〃
	90	3	三ツ石岳大	東京拘置所		90	3	塩沢忠沖	羽田タートルサービス
	90	2	岡田穰	川越少年刑務所		90	3	斎藤群	三菱ケミカル物流
無差別	3	山本亮馬	府中刑務所		無差別	3	臼倉汐斗	日本通運	
無差別	4	長谷川優	川越少年刑務所		無差別	3	木村亮太	〃	
無差別	3	中根健志	水戸刑務所		無差別	3	吉井拓海	〃	
無差別	3	石川竜多	〃		無差別	3	石本光樹	センコー	
無差別	3	田崎拓也	横浜刑務所		無差別	2	中島亮	〃	
無差別	3	野口綱太	千葉刑務所		無差別	3	莊司英寿	三菱ケミカル物流	

ぐうわ

イソップ寓話のウサギとカメ 足の遅いカメのとった戦略は こつこつとただ、歩き続けることだった。

スタートダッシュで差がついたときも

眠るウサギを追い越したときも

ゴール前で歓声を浴びているときも

次の一步を確実に踏むために

きっとカメは前だけを見ていた。

人目をひくわけでもなければ

結果がすぐにできるわけでもない。

それでも、目の前のことときっちりとやりきった。

最初はたった一人

揺るがないこと。それは静かなる強さだ。

空港のリムジンバスの洗車から。

このカメのように着実に。

地道に結果を積み上げて

そんな思いを胸に

少しずつ仲間を増やして

羽田タートルサービスは始まった。

空の安全を守る空港事業へ

人とものを繋ぐ物流事業へ

こつこつと私たちは進み続けた。

スタートをきった1978年。

あれからやれることは増えた。

でも、やるべきことはかわらない。

まだ先のゴールに向かって —— **今日も、一歩。**

一步一步、着実に  **羽田タートルサービス株式会社**

【本社】〒144-0043 東京都大田区羽田5丁目3番1号 スカイプラザオフィス12階

採用サイトは
こちらから



空港事業

空港ハンドリング業務・航空貨物取扱い・旅客案内や警備関連全般まで空港のインフラをサポートしております。



物流事業

小規模の請負業務から500名を超える大規模な請負業務までお任せください。安心で高品質な物流アウトソーシングを提供しております。

B ブロックリーグ戦 組み合わせ

第1位：

第2位：

No.		1	2	3	4	勝 負	順 位
チーム名 No.		織 維	医療・警備	J R	建設・電機・ 機械	勝-負-分	
1	織 維		②-1	②-3	②-6		
2	医療・警備	②-1		②-5	②-4		
3	J R	②-3	②-5		②-2		
4	建設・電機・ 機械	②-6	②-4	②-2			

※②は、試合場－試合順

試合順序	第2試合場		
1	織 維 部 門	VS	医療・警備部門
2	J R 部 門	VS	建設・電機・機械部門
3	織 維 部 門	VS	J R 部 門
4	医療・警備部門	VS	建設・電機・機械部門
5	医療・警備部門	VS	J R 部 門
6	織 維 部 門	VS	建設・電機・機械部門
7	3位決定戦		

《Bブロック》

織 維					医療・警備				
選手別	階級	段位	氏 名	所 属	選手別	階級	段位	氏 名	所 属
監督 助監督 〃 〃 主務 〃 〃 〃 〃 選手			吉田 優也	旭化成	監督 助監督 コーチ 〃 〃 トレーナー 選手 選手			小橋 秀規	AL SOK
			沼田 康弘	東レ				新納 啓介	セントラル警備保障
			渡邊 竜一	クラレ				松井 陽子	松波総合病院
			石井 孝敏	帝人				江藤 広幸	リンクスタッフグループ
			矢部 雅和	クラレ				森 雄二	北関東綜合警備保障
			西澤 昌樹	東レ				八山 清継	AL SOK群馬
			土居 祐己	帝人				山平 光利	AL SOK
			桑畠 政幸	旭化成					
	73	3	本田 祥万	東レ		73	3	長谷 晃希	松波総合病院
	73	2	小寺 圭佑	ク		73	2	森 慎乃介	〃
選手	73	初	長尾 賢志郎	ク		73	2	幸田 朗	リンクスタッフグループ
	73					73	3	大塚 遥人	〃
	73					73	3	岡田 達志	セントラル警備保障
	73					73	3	伊藤 海央音	北関東綜合警備保障
	90	初	矢部 雅和	クラレ		90	2	岸 良武輝	松波総合病院
	90	3	丹波 弘太郎	東レ		90	3	大竹 龍之助	リンクスタッフグループ
	90	3	北川 侑瑚	ク		90	3	笛間 幸成	セントラル警備保障
	90	初	茶圓 純大	ク		90	3	渡邊 稔都	〃
	90	4	中西 一生	旭化成		90	初	石黒 蒼太	AL SOK群馬
	90					90	3	片山 航希	AL SOK
無差別	3		新井 晃耀	東レ		無差別	2	中束 龍人	松波総合病院
	2		小上 展寿	ク		無差別	4	佐野 慶征	AL SOK群馬
	3		川田 修平	旭化成		無差別	3	浅居 充洋	セントラル警備保障
	4		千野 根有我	ク		無差別	4	菊地 真登	北関東綜合警備保障
	3		鈴木 直登	ク		無差別	4	山口 貴也	AL SOK
	3		石本 慎太郎	ク		無差別	3	小嶋 洋成	〃

J R					建設・電機・機械				
選手別	階級	段位	氏 名	所 属	選手別	階級	段位	氏 名	所 属
監督 コーチ 主務 タマ タマ タマ タマ タマ タマ 選手	山口 耕右	J R 九州	棚橋 正典	豊田自動織機					
	西田 清二	J R 東日本	斎藤 利輝	三菱重工名古屋					
	上原 正義	J R 東海	中島 大勝	クラフティア					
	鹿内 健吾	J R 東日本	菅原 健志	アドヴィックス					
	及川 大介	タマ	野口 修	建装工業					
	三河 和也	タマ	井上 智和	ジャパンエレベーターサービス					
	松藤 朗生	J R 九州	中山 修	芝					
	那須 紀彦	J R 東海							
	小栗 尚文	タマ							
選手	佐藤 竜	J R 東日本	選手	73 2 荒木 慎吾	クラフティア				
	荒井 俊貴	タマ	73 4 木戸 清孝	アドヴィックス					
	堤 大志	タマ	73 3 柿山 龍之介	三菱重工名古屋					
	岡本 瑞生	タマ	73 2 増田 耀馨	豊田自動織機					
	舞田 和己	J R 東海	73 3 市川 晃次郎	ジャパンエレベーターサービス					
	矢野 大輝	J R 九州	73 3 羽田野 啓太	タマ					
	近藤 駿介	J R 東日本	90 2 高垣 魁	三菱重工名古屋					
	森田 光裕	タマ	90 2 榎並 弘征	豊田自動織機					
	祝 貴之	J R 九州	90 2 小西 雄大	建装工業					
	山崎 一秀	タマ	90 3 大野 翔太	タマ					
無差別	名村 廉太	タマ	90 3 古田 直也	東 芝					
	比嘉 大翔	タマ	90 2 山崎 裕士郎	タマ					
	中藤 誠	J R 東日本	無差別 5 前田 峻登	アドヴィックス					
	高木 一石	タマ	無差別 3 古川 裕熙	タマ					
	弓削 凜月	J R 九州	無差別 3 石川 智啓	タマ					
	斗石 凜太郎	タマ	無差別 2 梅津 昇波	豊田自動織機					
無差別	矢野 淳真	タマ	無差別 4 斎本研アレクサンドル	ジャパンエレベーターサービス					
無差別	糸瀬 大輝	タマ	無差別 3 池上 拳伸	東 芝					



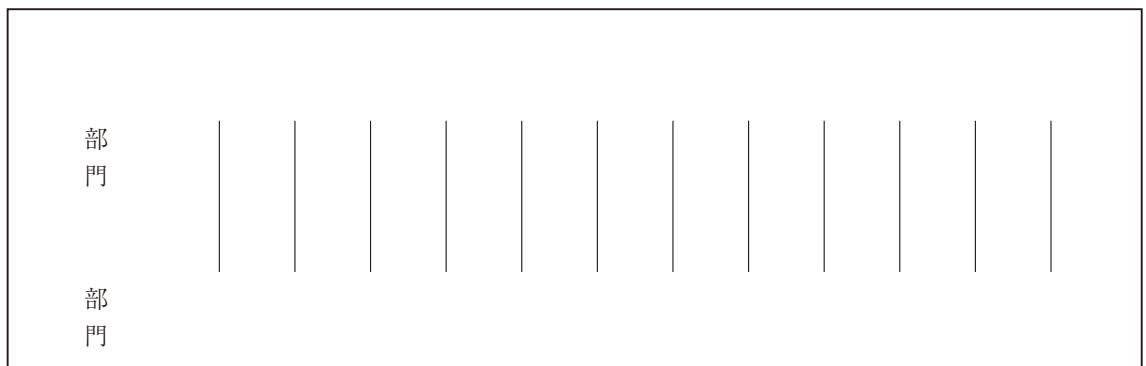
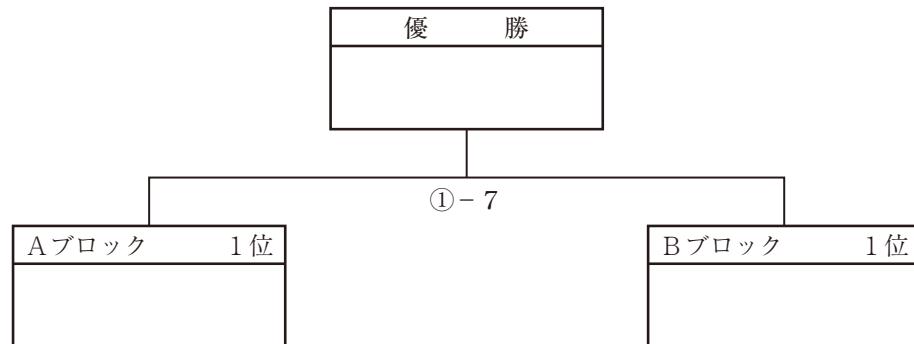
NIPPON STEEL

日本製鉄

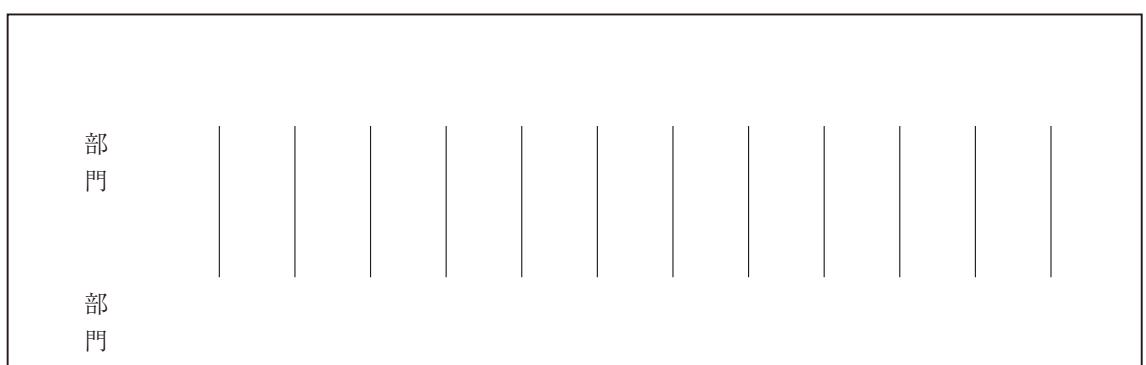
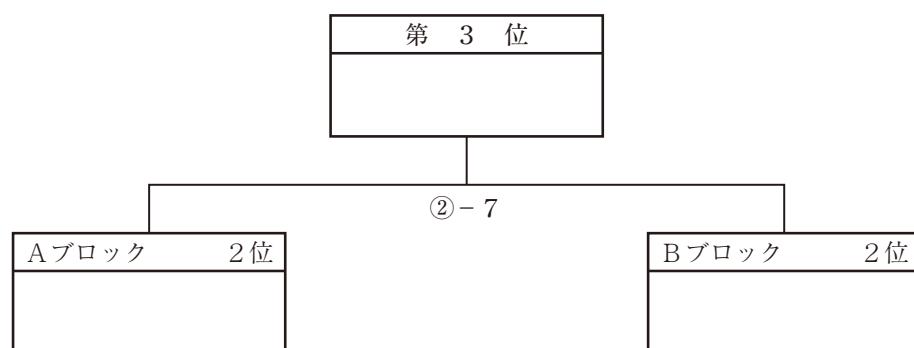


スペシャルサイト

決勝戦



第3位決定戦



とともに、次の農業へ。

石川県能登地域では、地震の被害を受けた農地や牧草地などの復旧が、日々進められています。

復旧活動には、地域の支援機関が大きな役割を果たしており、コマツもICT技術を活用した「農業ブルドーザー」による支援を行っています。

特に水田においては、この「農業ブルドーザー」が力を発揮します。ブレードの自動制御により、操作経験の少ない方でも、高精度な均平化が可能。農家の方が、自ら亀裂の入った水田を修復することで、いち早く米作りの再開に取り組めるようになりました。

農業復興の進展が、能登地域の未来に、一筋の光をもたらしています。

農家、地域の支援機関、そしてコマツは、ひとつになって、ここから前へ。次の農業を目指していきます。

農業ブルドーザー D21PL



ひとつになって、次の農業を目指していく。コマツの取り組みをご紹介します。

KOMATSU
Creating value together

過去の成績

年	回	開催地	参加数	優勝団体名	
昭和28年	1	講道館	6	織維部門	
29	2	✓	6	織維部門	
30	3	✓	11	1部	2部
				鉄鋼部門	鉄鋼部門
31	4	✓	11	織維部門	織維部門
32	5	✓	11	石炭部門	織維部門
33	6	✓	10	織維部門	織維部門
34	7	✓	8	鉄鋼部門	織維部門
35	8	✓	10	織維部門	織維部門
36	9	✓	10	鉄鋼部門	織維部門
37	10	✓	9	織維部門	織維部門
38	11	✓	10	織維部門	
39	12	愛知県体育会館	8	織維部門	
40	13	講道館	6	鉄鋼部門	
41	14	✓	8	機械部門	
42	15	✓	8	織維部門	
43	16	蒲郡市民体育館	10	機械部門	
44	17	大阪市立修道館	9	機械部門	
45	18	講道館	12	織維部門	
46	19	✓	11	鉄鋼部門	
47	20	✓	11	織維部門	
48	21	✓	11	織維部門	
49	22	✓	11	織維部門	
50	23	✓	10	織維部門	
51	24	✓	11	織維部門	
52	25	✓	12	織維部門	
53	26	✓	12	織維部門	
54	27	✓	12	鉄鋼部門	
55	28	✓	12	鉄鋼部門	
56	29	新日鉄・名古屋体育館	13	鉄鋼部門	
57	30	神奈川県立武道場	13	織維部門	
58	31	✓	13	織維部門	
59	32	講道館	13	鉄鋼部門	
60	33	✓	14	鉄鋼部門	
61	34	✓	14	織維部門	
62	35	✓	15	1部	2部
				織維部門	機械部門
63	36	✓	15	織維部門	医療接骨部門



頑張れ！京葉ガス柔道部 !!

つぎの「うれしい！」へ。

keiYO GAS

あらゆる印刷物を より良い“パートナーシップ”で

お客様のニーズに合わせてカタチにします。

お客様の制作意図をより深く理解し、ご満足いただけるデザインを創造します。
きめ細かな対応で高品質印刷物の短期納品をお約束します。



印刷物制作の予算・部数・納期など企画の段階からご相談ください。
写真撮影・デザインから印刷・納品までトータルにサポートします。

ダイコロ株式会社

<https://www.daicolo.co.jp>

大阪本社 〒573-1132 大阪府枚方市招提田近2-8 ☎072-850-0771(代)・大阪営業部 ☎072-819-5288・営業2課 ☎072-867-3436
東京支社 〒131-0034 東京都墨田区堤通1-19-9 リバーサイド隅田セントラルタワー2階 ☎03-3619-6117 / 仙台支店 ☎022-355-6841
名古屋支店 ☎052-747-7510 / 愛媛クリエイティプラボ / 広島支店 ☎082-249-6911 / 福岡支店 ☎092-413-3888



年	回	開催地	参加数	優勝団体名	
平成元年	37	講道館	15	1部	2部
				織維部門	印刷出版部門
2	38	✓	15	織維部門	情報流通部門
3	39	✓	15	織維部門	印刷出版部門
4	40	✓	15	織維部門	電機部門
5	41	✓	15	織維部門	水産食品部門
6	42	✓	15	織維部門	通信警備部門
7	43	✓	15	織維部門	建設部門
8	44	✓	15	織維部門	運輸部門
9	45	✓	15	織維部門	印刷出版部門
10	46	✓	16	織維部門	医療接骨部門
11	47	✓	14	織維部門	官公庁部門
12	48	✓	12	医療接骨部門	運輸部門
13	49	✓	12	通信警備部門	官公庁部門
14	50	✓	12	通信警備部門	医療接骨部門
15	51	✓	12	織維部門	鉄鋼部門
16	52	✓	12	織維部門	官公庁部門
17	53	✓	10	織維部門	建設・電機部門
2ブロック・リーグ戦へ移行				優勝	準優勝
18	54	講道館	10	織維部門	警備部門
19	55	✓	10	織維部門	警備部門
20	56	✓	10	織維部門	鉄鋼部門
21	57	✓	10	織維部門	鉄鋼部門
22	58	✓	10	織維部門	鉄鋼部門
23	59	✓	10	織維部門	鉄鋼部門
24	60	✓	10	織維部門	食品・印刷・サービス部門
25	61	✓	10	織維部門	食品・印刷・サービス部門
26	62	✓	10	食品・印刷・サービス部門	鉄鋼部門
27	63	✓	10	織維部門	食品・印刷・サービス部門
28	64	✓	9	食品・印刷・サービス部門	鉄鋼部門
29	65	✓	8	食品・印刷・サービス部門	織維部門
30	66	✓	8	織維部門	食品・印刷・サービス部門
令和元年	67	✓	8	食品・印刷・サービス部門	鉄鋼部門
2	68	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止			
3	69	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止			
2ブロック・3階級別に移行				優勝	準優勝
4	70	講道館	7	織維部門	食品・印刷・サービス部門
5	71	✓	8	食品・印刷・サービス部門	運輸部門
6	72	✓	8	食品・印刷・サービス部門	織維部門
7	73	✓	8		建設・電機・機械部門

We Find the Way



For Where You'll Go Next

すべてのビジネスには、成功へたどり着く裏面の方法がある。それを見つけ出すためなら、いかなる努力も惜しまない。NIPPON EXPRESSは、151年にわたる豊富な経験をもとに、49カ国で事業を展開するグローバルロジスティクスのリーディング企業です。私たちが選び選るのは、たとえば美術品、医薬品、半導体チップから航空エンジンまで、実にさまざま。ネットワークと高度な専門性を活かした提案力で、複雑化するロジスティクスの最適解を見つけ出します。あなたのビジネスの進む先がどこであっても、いつも近くで支えてゆく、私たちは、NXグループです。 nipponexpress.com

NEX NIPPON
EXPRESS
We Find the Way



SINCE 1976



GAJU & GANJU
KIAI GOODS

有限
会社 伊志嶺商会
武道衣 沖縄南海堂

代表取締役

伊志嶺 朝之助
Ishimine Tomonosuke

■本店 沖縄県那覇市首里末吉町4-2-9
〒903-0801 TEL: 098-885-5537(代)
FAX: 098-885-5538

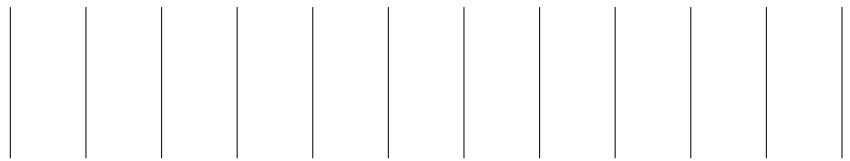
E-mail: info@ishimine.com <http://www.ishimine.com>

過去の成績（女子の部）

年	開催地	優勝チーム
平成6年	講道館	東軍
7	ク	西軍
8	ク	西軍
9	ク	西軍
10	ク	東軍
11	中止	——
12	講道館	西軍
13	ク	西軍
14	中止	——
15	講道館	東軍

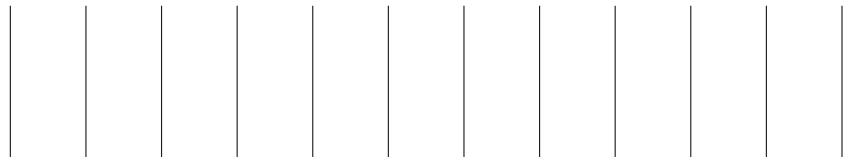
平成16年以降中止

部門



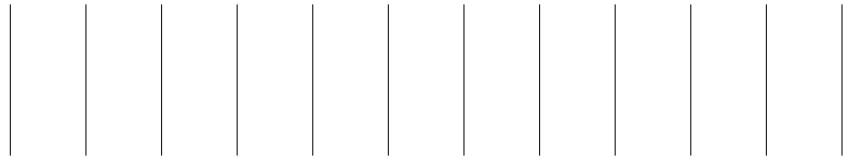
部門

部門



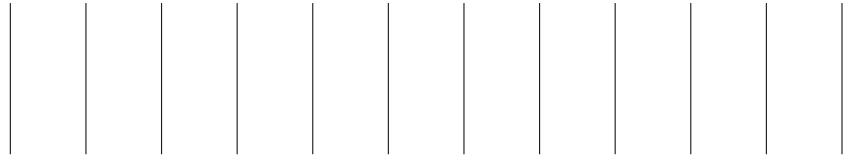
部門

部門



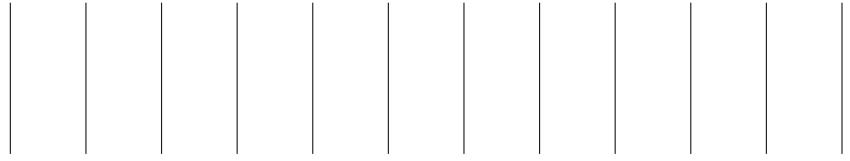
部門

部門



部門

部門



部門

柔道界から 暴力・パワハラ・セクハラ をなくそう!



(公益財団法人)全日本柔道連盟 コンプライアンス委員会

これまでのコンプライアンス委員会活動状況とリーフレット作成の目的

全日本柔道連盟は、2013年8月に「暴力行為根絶宣言」の発出とともに「コンプライアンスホットライン」「目安箱」を制定し、「柔道における暴力の存在は決して許さない」という強い決意のもと、柔道指導者に限らず柔道を行うすべての者に対し、いかなる暴力行為も行わないことを強く求めてきました。加えて、2015年5月に「暴力・体罰・セクハラ問題を学ぶためのガイドブック」を発行し、2018年10月には「柔道界からパワハラをなくそう」リーフレットを発刊、全柔連HP・大会プログラム等に広く掲示し、「暴力・パワハラ・セクハラ」のない柔道界を目指してきました。

しかし、一時は改善の兆しを見せたかに思えた「暴力・パワハラ・セクハラ」問題でしたが、「選手の能力向上のためには指導の中で暴力も必要である」と妄信する指導者や年長者による問題

行為は収まることがなく、今日までに多くの「暴力・パワハラ・セクハラ」等事案を処分の対象としてきました。また、表に出て処分の対象になった事案だけでなく、「指導とパワハラの境界線が不鮮明」と捉えてしまい、「指導の一環である」として表面化しない問題事案も多く存在すると言われています。

今回のリーフレットでは、実際に柔道指導に当たっている指導者が持っている「自分の指導は、大丈夫だろうか?」という問い合わせに答えるべく、過去にあった事例を取り上げ、より具体的にし、「自分自身にも起こりうること」として考えができるようにすることを目標にしました。

このリーフレットが、柔道指導者がより良い指導を実現する一助になれば幸いです。

柔道界における 暴力 パワハラ セクハラ 最近の主な実例

分類

内 容

① 身体への攻撃

暴行・傷害を発生させる行為(必要以上に強く投げたり、マイッタしても絞め続ける行為も含む)

- Q1 指導の一環であれば、多少殴ったり、けったりしても良いのではないですか？
- Q2 体罰は愛のムチであり、選手も親も望んでいます。「勝たせるため」にしているのだから許されますよね？
- Q3 生徒の言動に大きな問題(悪ふざけ、いじめ等)がありました。このような場合、体罰も必要ではないですか？

- 事例1** 顧問が練習中、気合いが入っていない部員の顔面をプラスチック製バットで殴打し、ケガを負わせた。
- 事例2** 監督が選手の試合に臨む態度、結果が気にいらないと、出場した2名に対して顔面を平手打ち、足蹴り、突飛ばす等の暴力行為を行った。
- 事例3** 生徒が絞め技・関節技に弱いことを懸念した指導者が、「自分たちもこの厳しさを乗り越えて強くなつた」という信念で、乱取り稽古中に何度も生徒を絞め技で失神させた。



Answer 「暴力行為や暴言、精神的圧迫などで威嚇して、自分の言うことを聞かそうとする行為」は、虐待的行為として社会的に大きな問題とされています。残念ながら、柔道活動の現場では、「性根を叩きなおす」「気合を入れる」「愛のムチ」等の言葉を大義名分に、指導の為には必要なこともあると黙認されることがあります。しかしながら、現代社会において決して許されるものではありません。指導者自らが学ぶことを忘れず、選手との対話を通して、言葉での説明や手本を示すことで指導し、本人の気づきを大切にしながら励まして行くといった指導を心掛けましょう。

② 精神的な攻撃

脅迫・名誉棄損・侮辱・暴言・ひどい叱責(人格を否定するような言葉、むやみに怒鳴る行為も含む)

- Q1 高い目標を達成するためには、集中力が必要です。「気を抜いたり、ミスをすると指導者に叱られる」という緊張感は必要なのではないですか？
- Q2 指導者の「熱い思い・情熱」を選手たちに伝える為、あえて怒鳴ったり、厳しい言葉で叱責することは必要なことではないですか？

- 事例1** ある柔道部顧問は練習態度や試合結果が気にくわないと、「死ね」「殺す」「ごみ」などの罵声を繰り返し浴びせた(暴力・体罰を伴う)
- 事例2** ある選手が、部のルールに違反した。指導者は、"連帯責任"という名目で、同学年の選手全員を寮の外出禁止とし、食事当番や電話当番を強制したため、選手は学生の本分である授業や練習に出ることができなくなった。
- 事例3** ある指導者は、気に入らない選手が挨拶しても無視し、アドバイスを求めて「お前にはしない」と言い放った。



Answer 当然、相手を侮辱したり、差別発言を繰り返すことは、パワハラとなります。指導者としては、「反発心を力に変える」「気合を入れなおす」「叱咤激励する」といった考え方で、あえて大声で怒鳴ったり、汚い言葉を使っているつもりでも、選手は自尊心を傷つけられ精神的に落ち込むことが多いものです。暴言によって生徒や選手が精神的に追い込まれ、自殺に至ったケースもあります。暴言は、ときに人権侵害に結びつくのです。スポーツ指導においては、肯定的な言葉かけや矯正を目的とした言葉かけが重要であるとされています。それはまた、主体的に考え行動できる選手を育てることがあります。指導者と選手に上下ではなく、対等な関係であるという意識を持ち、一般社会で受け入れられる言動を心がけ、互いに気持ちよく活動できる環境をつくりましょう。

③ 人間関係からの切り離し

④ 過大な要求

⑤ 過小な要求

隔離・仲間外し・口をきかない等の行為(無視、練習相手をしない、指導をしない行為も含まれる)

Q1 生意気で指導者の言うことを聞く選手には、その行為が皆に迷惑をかけることをわからせるために無視することも必要なではないですか？

Q2 部の伝統に逆らったり、集団の輪を乱す部員には、「試合に出さない」「稽古に参加させない」等の罰は、必要なではないですか？

事例1 先生から急な連絡を受けた上級生が、「練習に遅刻を繰り返す」「指示されたことを守らない」下級生にだけわざと、練習場所や時間の変更を伝えなかった。

事例2 ある指導者が選手に対し、「俺の前でよく柔道ができるな」「あんな身勝手な奴とは稽古するな」等の理不尽な発言を繰り返し、稽古をさせなかつた為、選手は孤立した。



Answer 指導者の方針に従わない選手に対して、「無視」「稽古に参加させない」「試合に出さない」等によって、集団から孤立させる行為は、パワハラとなります。これが、「いじめ」等に発展し、退部や転校等につながれば社会的問題にもなりかねません。上下関係による「強制と服従」での指導は、選手が自発的に柔道を楽しむ権利を奪い、「選手自らが考え工夫する力」を育むことを阻害してしまいます。指導者は、「自分が一番正しいという妄想」を改め、他の人の意見にも耳を傾け、常に学び続ける姿勢を持ちましょう。

明らかに不要なことや実行不可能なことを要求すること(合理的な理由のない過度な練習も含む)

Q1 ある選手が手を抜いた稽古をしたので、罰として猛暑の道場で倒れこむまで打込みをさせました。気合を入れる為には、問題ないですよね？

Q2 勝敗を決めるのは、最後は精神力です。最後に勝てる強い選手を育てる為、限界を超えるくらいの練習をさせることは、問題ないですよね？

事例1 ある指導者は、試合で負けると、人が変わったように不機嫌になり、次の練習時に、腕立て伏せ千回、スクワット千回、打ち込み千回等の、過激な練習をさせるので、生徒や保護者は怪我をしないかとても不安だが、怖くて言いたせない。

事例2 ある指導者は、なかなか技の要領を覚えない生徒に対して「元立ち」を隠せず、「ろくに柔道の稽古ができないやつは、グラウンドでも走っていろ」とつきはなし、その後3時間もランニングを続けさせた。夏の暑い日で、あやうく熱中症になるところだった。



Answer ただ単に「精神力を高める」「根性をつける」等のために、厳しい稽古・長時間の練習を強いることは、パワハラというべきレベルだと考えられます。「過度の練習がスポーツ障害・外傷のリスクを高めること」をよく理解し、「柔道の特性等を踏まえた科学的指導法」を学んだ上で、個人差等にも配慮して練習メニューを設定しましょう。指導者は最新の指導法を学び、選手が競技として柔道をしている間だけでなく、競技を終えた後も「生涯柔道」を楽しむことができるよう指導を心掛けましょう。

合理的な理由なく、程度の低いことをさせる、活動をさせない等の行為(1人だけ別メニューも含む)

Q1 指導方針にいちいち異を唱える選手に対し、「私の方針に反対なら、何もするな」と言い、見取り稽古だけにしました。問題ないですよね？

Q2 ちょっとしたことでケガをしたといってくる選手がいます。煩わしいので、「元立ち」や「投込み」はさせません。問題ないですよね？

事例1 ある柔道部では、選手の練習にのぞむ態度が少しでも気に入らないと、「もう何もしなくていい」「道場の隅で正座でもしてろ」「帰れ」「道場の外に出て入ってくるな」と冷たく言い放つ為、練習の雰囲気が悪くなり、みんな徐々にやる気を失っている。

事例2 ある指導者は、指導に従わない道場生に対し、みんなが見ている前で「俺の言うことが聞けないなら、道場から出ていけ」と追い出したきり、その後何のフォローもしなかつた。



Answer 合理的な理由なく、「仲間とは違う程度の低いメニューを行わせる」「活動をさせない」等の行為は、「いじめ」「仲間外れ」に類する行為でパワハラとなります。また、「人間関係からの切り離し」に近い性質も持っています。どうしても、ある選手だけを別メニューにする必要がある時は、「どうして、その選手だけが違う練習をしなければならないのか」、その理由を本人だけでなく仲間に丁寧に説明し、全体が納得した上で行うようにしましょう。

私的事項に過度に立ち入ること。家族関係・恋人の有無・休日の予定等、私的領域に踏み込む行為

Q1 選手の生活を正しく管理することは、指導者の大事な役割です。プライベートなこともすべて知つておく必要があるのではないか?

Q2 試合で結果が出ない選手に対して、柔道の邪魔になる「男女交際」をやめるように言いました。問題ないですよね?

事例1 ある先輩が、柔道部の上下関係を利用して、新入生のプライバシー(恋人、家族関係など)に立ち入ってきて、いろいろなことを言ってくるので後輩たちは皆まいっている。

事例2 ある指導者は、必ず親の職業を聞きだし、職によっては自分に便宜を図るように仕向けさせて評判が悪い。



Answer 上司と部下、教師と生徒、先輩と後輩、指導者と教え子等の関係性において、「私的事項に過度に立ち入る」といったことが起こることがあります。柔道の指導とは全く関係がないのに、立場を利用して、家族関係、恋愛関係、休日の予定等のプライベートなことについて詮索することは、ハラスメントとなります(その行為が、男女関係に発展させることを意図したものであればセクハラ)。また、個人情報を相手の許可なく漏洩することは違法な行為となる場合もあります。「立場を利用して、無意識にプライベートを詮索していることもある」ということを意識して行動しましょう。

当事者の意に反した性的な性質の言動を行うこと。それによって一定の不利益を与えること、活動環境を悪化させること

Q1 「胸が大きいな」「ケツでかいな」等は、単なる冗談の一つです。大丈夫ですよね?

Q2 女子選手は、生理の関係で調子に影響が出ます。選手の生理について把握し、状況を知る為に、常に質問しても問題ないですよね?

Q3 選手とマッサージしながら会話することで、体調管理を行なうとともにコミュニケーションをとっています。異性ですが、問題ないですよね?

事例1 ある指導者が教え子に対し、寮や合宿中に「わいせつ行為」を繰り返した。

事例2 Tシャツの上から胸をじろじろ見てきて、「下着が透けてるぞ」などと言ってくる。

事例3 寝技などの練習中、不必要にお尻や胸を触ってくる。

事例4 試合中、柔道衣が汗で濡れて透けていたり、Tシャツの首の部分が伸びている時を狙って写真を撮ってくる。



Answer セクハラとは、「相手を不快にする、性的な言動」のことです。その行為が性別や意図的であるなしに関わらず、被害者や周りの人にとって不快なものであれば、セクハラとなります。柔道界では、時に指導者が選手に対して「絶対的権力」を有している状況が見られます。その関係性から、寮生活・合宿や遠征等で多くの時間と空間を共有する中、指導を口実とした身体接触(稽古中不必要に尻や胸を触る/無資格者によるマッサージや、密室の空間に2人きりになる等)が当然のことのように行われている現状があるのです。柔道にたずさわる人々が、安全に楽しく活動できるように、「柔道界においてセクハラは絶対に許さない」という強い姿勢を社会に示していきましょう。

生徒間の暴力・指導者/関係者の黙認・指導者の指示による学生間の暴力・私的交流におけるトラブル

- 事例1 生徒間の暴力・指導者の黙認** – 校内、道場、寮で上級生から下級生へ殴る、蹴る等の暴力や恐喝行為が繰り返されていた。
- 事例2 パワハラ・体罰が行われている場に居ながら、制止せず傍観** – 問題行動があった生徒に対し、ある指導者が、稽古中に「叩きつけるような投げ方」「故意に絞め落とし気を失ったところをビンタ」等を行った。副顧問も稽古に参加していたが、制止せず傍観していた。
- 事例3 指導者の指示による学生間の暴力** – ある大学指導者が先輩部員に対し、遅刻するなど生活態度が悪い部員を厳しく指導しろと指示した。先輩部員は、練習でしごき（殴る、蹴る、絞め落とす等）、私生活でも暴力が常態化した。
- 事例4 柔道関係者の私的交流におけるトラブル** – 県の柔道行事のあと飲食、二次会で行きつけのスナックに行った。Aが言葉遣いを叱責したところ、Bが從わず口論となり、Bが首筋を掴みかかる等の行動に出て、Aも相手の顔面を殴る等の暴力を加えた。



Answer 「あらゆる暴力やハラスメントは、しない・させない・許さない」という強い意識を常に持って指導に当たることが大切です。自身が気を付けるだけでなく、コンプライアンスに問題のある行動を見かけたら、黙認や隠ぺいをせず改善に向けた適切な行動をしましょう。指導者・選手・関係者全員が、「暴力や暴言は許されない」ということをしっかりと認識し、自由に意見を言い合うことのできる組織、チーム・環境を作ることを心掛けましょう。

ご相談の窓口

全日本柔道連盟ホームページ(<https://judo.or.jp>)から「全柔連について」→「ご相談の窓口」へ進んでください。

都道府県柔道連盟(協会)

都道府県柔道連盟に関するることは、都道府県窓口担当者にご相談ください。



全日本柔道連盟「柔道目安箱」

- 対象者**：どなたでもご利用できますが、内容によって、全日本柔道連盟が対応する場合と都道府県柔道連盟が対応する場合があります。
- 受付方法**：封書またはメール
※全柔連HPの「ご相談の窓口」から「柔道目安箱」を選択し、「投稿フォーム」に記入してご送付ください。
(メールの場合、担当者からの返信を受信可能な状態にしてください)
- 郵送先**：〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30 全日本柔道連盟 倫理推進室「柔道目安箱」係
- メール送付先**：rinri@judo.or.jp

全日本柔道連盟「内部通報制度(コンプライアンスホットライン)」

- 対象者**：全柔連登録会員、全柔連及び加盟団体の役職員 **受付方法**：封書またはメール
※全柔連HPの「ご相談の窓口」から内部通報制度（コンプライアンスホットライン）を選択し、「受付表」に記入してご送付ください。窓口は2ヶ所あります。（メールの場合、担当者からの返信を受信可能な状態にしてください）
- 郵送先**：〒105-0003 東京都港区西新橋 1-21-8 弁護士ビル 807 号
あたらし橋法律事務所 赤堀文信弁護士気付 全柔連コンプライアンスホットライン
- メール送付先**：akahori@atarashibashi.com
- 郵送先**：〒107-0052 東京都港区赤坂 7-5-7 赤坂光陽ビル 5 階
山田・尾崎法律事務所 山田奈美香弁護士気付 全柔連コンプライアンスホットライン
- メール送付先**：n.yamada@yamada-ozaki.com

「暴力・パワハラ・セクハラ」を起こさないために

1. 勝負がすべてではありません

柔道には、負けて学ぶこともあります。「勝敗」以外にも大事なものがいることを認識し、勝利至上主義に陥らないようにしましょう

2. 加害者も、被害者も不幸になります

「暴力・パワハラ・セクハラ」は、被害者だけでなく、加害者にとっても不幸をもたらすことを自覚し、思わず手が出そうになったり、暴言を吐きそうになったときには、自分を抑える忍耐力、コントロールする能力を持ちましょう。他者を支配できると思ってはいけません

3. プレーヤーの自発性を引き出すコーチング

プレーヤーの気づきを促して、自ら考え、工夫することを通して成長へと導いていく指導を基本としましょう

4. 学び続ける姿勢を持つ

コーチングに関する最新の情報を手に入れ、プレーヤーに新しい技術や知識などを的確にアドバイスできるよう、指導者自らが常に学び続ける姿勢を持ちましょう



実践！グッドコーチング
～暴力・パワハラのないスポーツ指導を目指して～
PHP研究所

柔道 MIND 活動のねらいを、今一度考えてみましょう

相手への尊敬、信頼を示すものが礼法であり、他人に依存していることを自覚するのが真の「自立」です。それにより相手への感謝、尊敬の念が生じ「礼節」となります。さらに、「M 礼節」と「I 自立」の相互作用により正々堂々とした「N 高潔」さが示され、自ずと信頼が寄せられるようになり、「D 品格」が完成されます。木を成長させていくことで、この相乗成長する過程をデザインして、柔道 MIND をわかりやすく表現いたしました。



嘉納治五郎師範は、「世の中の為に有為な人間を育成する教育理念」を最も重視しました。師範は、柔道を学ぶ者が到達すべき最高の目標として、

「精力善用」 (善を目的に心身の力を最も有効に使用すること)

「自他共栄」 (自分と他人との調和をはかり、お互いが繁栄して行くようにすること)

という言葉を残されました。この2つの言葉の意味をしっかりと理解するとともに、日々鍛錬し技を磨く中で、心の修養に努め、「自己を完成し、世の中の役に立つ人になる」という究極の目的に向かって努力して行くことが最も大切なことです。柔道修行は、人として正しく成長する為に有用であるばかりでなく、望ましい社会を作りだすことにも大きく貢献できる要素を持っています。

自他共栄
SEIRYOKU
ZENYO
JITA KYOEI

japan elevator service



何よりも安全のために
見えないからこそ手を抜かない
信頼を礎に



[エレベーター等昇降機メンテナンス・リニューアル](#)

[エスカレーターメンテナンス](#)

[立体駐車場メンテナンス](#)



japan elevator service

ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-3-13東京建物日本橋ビル5階 設立:1994年10月/東証プライム市場(6544)

<https://www.jes24.co.jp/>

誰かが決めたルールに、しばられない発想を。
誰かが決めた限界を、壊していく活動を。
誰かが決めた常識を、疑っていく哲学を。
誰かが決めた枠組みに、おさまらない夢を。
技術、という共通の言語で。
企業も、国も、文化も超えて。
すべてのいのちと暮らしに貢献するために。



はみだせ! うみだせ! 旭化成

AsahiKASEI